

Rotary
Club of KOBE EAST



The Rotary club of Kobe East Bulletin

神戸東ロータリークラブ会報

No.380 2015-2016 No3

表紙絵：太原 農也元会員

会長／道上 明 副会長／岩野 了 幹事／鮑 悦初 雑誌会報委員長／弘田 芳裕 副委員長／田中 寿夫
例会場：ホテルオークラ神戸 例会曜日：毎週火曜日

クラブ会長テーマ 「－原点をみつめ、愛あるロータリー活動を－」



世界へのプレゼントになろう

RI President

K. R. “ラビ” ラビンドラン
2015-2016年度国際ロータリー会長





2015-2016 年度 神戸東ロータリークラブ
第 62 代会長 道上 明

2015-2016 年度神戸東ロータリークラブ第 62 代会長を退任するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まず冒頭に申し上げなければなりませんことは、本年は、御承知のように光葉貞男会員と加藤昇治会員が亡くなりました。いずれも大先輩であり、御家族はもちろん我クラブのメンバーにとりまして痛恨の極みであります。お二人の霊の安らかなることをお祈りいたします。

尚、メンバーであります。退会は、転勤による 1 名を含め 2 名であり、一方入会は 5 名であります。

よって、会員数は年初の 109 名から、1 名増の 110 名ということとなります。ガバナーには、1 名増を約束致しましたが、本日現在その約束通りになっており、嬉しく思っております。

さて、本年度は R I 会長 K. R “ラビ” ラビンドラン会長は、「世界へのプレゼントになろう」をテーマとされました。

人は、才能、知識、能力、努力、献身、熱意など誰でも与えることのできる何かを持っているはず。ロータリアンはロータリーを通じて、この自分に授けられたものを力の限り世界へのプレゼントにしてほしいと述べられているのだと思います。

ただこれだけでなく、「皆さん自身を、世界へ

のプレゼントとして捧げて下さい。」ともわれています。

皆さんは、この 1 年間何を捧げられたでしょうか。

私は、正直ただがむしゃらに会長職をつつがなく行うことに必死であり、なかなか R I 会長の述べられるような実践は、することはできなかったように思います。ただ、会長職は完うするという努力だけはしたのか、というのが現在の心境であります。

次に、本年度会長テーマである「原点をみつめ、愛あるロータリー活動を」についてご理解を賜り、誠にありがとうございました。

ロータリーの原点としては「一業種一会員制の原則」「例会出席の原則」そして「愛ある活動」をあげました。例会はロータリーの原点であり、いかに有意義にかつ楽しいものにするかが重要であります。会員卓話も多くして頂きました。その意味は業界を代表する各ロータリアンの卓話をお聞きすることにより、各メンバーの真の親睦をはかることができると考えたからです。ロータリーは、発足当時から、すなわちポール・ハリスの時代から、いわば会員卓話から始まっていると考えられ、ロータリーの原点はまさに会員卓話にあると思います。

今年は従来にもまして会員卓話の回数も増え、この目的は達成されたものと思っています。そのために、プログラム委員会のきめ細かい御配慮には本当に、頭が下がる思いでした。

ちなみに次年度も、会員卓話を多くするというをお聞きしております。

例会によって親睦をはかり、それを源泉として奉仕活動に進む。そのために例会は楽しくかつ会員卓話を多くと、となえたのであります。そして奉仕活動を行うことによってさらに親睦がはかられ、次の奉仕活動への進むというよき循環が生まれたのではないかと思います。もちろん親睦は、例会のみによって醸成されるものではありません。委員会活動や多くの同好会活動によって親睦がはかれることは当然の



ことであります。

今年度、例会において多くの同好会報告がありました。会員の皆様は是非参加され、親睦をはかられることをお勧めします。

「ロータリーに入ることによって、何が楽しいのですか？」と聞かれたことがあります。私は、今申し上げた、「親睦から奉仕、そして親睦と進む循環による達成感」と答えたことがあります。間違っているかもしれませんが、今のところの私の答えです。

諸行事・諸奉仕活動についても愛ある真心のこもったロータリー活動であったと感謝しております。

この目標を掲げたのは、丸尾ガバナーが通年行事や行動を単に踏襲しているだけでないか。又、セミナーが年中行事化し、感動が希薄化してないかなどを検討してほしいと問題点を指摘されたからでした。すなわちマンネリズムの打破ということだと思います。

諸行事につきましては、親睦会、みなと神戸海上花火大会鑑賞会、淡路島への家族旅行、忘年家族会、創立記念例会等、楽しく心に残るものであり、関係委員会の皆様にお礼を申し上げたいと思います。海上花火大会、家族旅行や忘年家族会は、御家族の皆様との親睦を大いにはかることができ、楽しい思い出となりました。それぞれの準備活動や当日の手配などを拝見しますとクラブ奉仕の重要性を再認識しました。職業奉仕では、従来の会員企業の職場訪問でなく、「時代に合った事業」として神戸医療産業都市及び理研計算科学研究機構の「スーパーコンピューター京」の見学が特色あるものでした。このような機会がないとなかなか訪れることもできず、いい企画だったと思います。

神戸が誇る事業の見学は、事業や施設への親近感を抱かせるものでした。大澤委員長のスピーディーな決断・実行には、頭の下がる思いでした。

社会奉仕では従来から継続している、神戸市立青陽東養護学校及び同友生支援学校の生徒の

招待ボウリングと共に今年は前記青陽東養護学校に対して「知的障害学校における非常災害時対応支援」と題して地区補助金申請し、「弱者支援及び教育支援」を行ったことが新しい活動でした。ボウリングをしているときのあの嬉しそうな子供たち、歓声を上げている子供たち、ハイタッチをしている子供たち、このような子供たちを見ているとロータリー活動の真髄を見る思いがします。いまだ参加されておられない会員の皆様、ぜひ参加され、その感動を味わってください。

また、ボウリング場において、いわゆる「補助具」に「神戸東ロータリークラブ」という消えかけた文字をふとみつけたとき、この行事の歴史を感じ、諸先輩方の努力を垣間見た思いが致しました。

宮委員長のいつもながらの周到的な準備、有難うございました。

国際奉仕では5月28日から5月30日まで当クラブの企画で、ソウル国際大会に参加したことが大きなイベントでした。

国際大会に参加するという事で、世界中のロータリアンと交流を深め、ロータリーに対する認識を深められたのではないかと思います。

私自身は、国際大会に初めて参加しましたが、ロータリーが世界的なものであり、120万人の仲間がいるのだということを文字通り実感することができました。会場で、100以上の各国の国旗が入場するのを見た時、ロータリー活動はまさに全世界を席卷しているのだと実感せずにはいられませんでした。今までは何か別世界の出来事、人ごとであるという感覚でしたが、現場へ行くということは、全く違うということを感じました。

K. R. “ラビ” ラビンドラン R I 会長のスピーチを身近にお聞きすると、R I がより近く感じたものでした。

また17名の当クラブの関係者と共にツアーを組んで大会に参加できたことは、大いに親睦を深めることができました。



又、隣国韓国の歴史などを認識することができ、有意義なものでした。

井元委員長はじめ関係者の皆様、ありがとうございました。

青少年奉仕では、恒例の中央区少年団親睦野球大会、第4回永田萌さんと王子公園で絵画を描こうの外、夢をかなえるパティシエ体験が初めて行われました。

王子公園の絵画教室は、ガバナー賞を頂きました。永年にわたる当クラブのこの活動が認められたものであり、本当に嬉しく思います。またパティシエ体験は、福原委員長らしい発想で実現でき、大好評であり大変嬉しく思いました。子供たちが、目を輝かせながら、ケーキを作っているのを見ると本年度最初の事業として大成功したと感じています。委員会の目的は青少年時代に夢と希望を抱き、その夢を実現するための手助けとして、社会に貢献できる人材を育成するとされていました。その目的をよく達成されたものと思います。

ここで少し話題がそれますが、「公共イメージ」の重要性についても年度当初に私は述べました。

これは、ロータリー活動の市民への認知度が必ずしも高くないため、これを高くするということですが、今述べました絵画教室やパティシエ体験が委員長の努力により新聞媒体（神戸新聞と産経新聞）に掲載されたことは、この意味で意義のあったことと思います。

又、ホームページの更新も本年度は岩野副会長を中心に実施して頂き、時宜を得たものとなったと思います。公共イメージの問題は、ロータリーの理念を、公共団体や市民に伝え、奉仕の理念を共有するために重要なことと思っています。そしてこのような中から新しいメンバーが入ってくることを願っています。

そのほか、時間の関係もありいろいろ申し上げますが、すべての会員の御協力の下にクラブ運営ができましたことは私の大きな喜びとするところであります。

ところで、現在、ロータリーは大きな転換点にあるとも言えます。本年の規定審議会によって、従来のロータリー感とはかなり異なるルールを作成できることが可能となるようであります。

例えば、例会や職業に関する事項についてかなり柔軟性が認められることが可能になるようであります。その分、ロータリークラブの自治権の範囲が広がったと考えられますが、その点私たちに課せられた責任も重大であると思います。いずれにせよ、当クラブでも特別委員会において検討していただくことに致しましたが、ロータリーには変えてはならない事項があるはずであります。これを見誤らないように、我々は前進していかなければならないと考えます。

更に本年、災害の発生があり、義援金等を皆様から御協力いただきましたことをお礼申し上げます。熊本における地震と台湾南部の地震であります。阪神・淡路大震災を経験したクラブとして地震災害等については、できる限りの支援をしたいと思ひ御協力をお願い致しました。

おわりにあたり、ともかく本日を迎えることができましたのは、まずもって、岩野副会長、鮑幹事、の絶大な御協力の賜物であります。岩野副会長には、幹事経験者として適切なアドバイスを頂きました。鮑幹事には、本当に何から何まで細かい仕事までして頂きました。改めまして、お二人に深甚の感謝の念を表明したいと思います。私は、副会長・幹事の経験もなく会長となりました。二人がいなければこの1年間は、到底クラブ運営ができなかったものと思います。重ねて厚くお礼申し上げます。又、理事役員、委員長の皆様には積極的に活動して頂き誠に有難うございました。そして、会員の皆様、むつみ会の皆様、職員の皆様、更にホテルの皆様全員の御協力に感謝しつつスピーチを終了したいと存じます。

どうも1年間本当にありがとうございました。



副会長
クラブ奉仕委員長 岩野 了

「副会長は年度が過ぎたら忘れられるくらいが丁度良い」との前年度副会長をされた吉井さんの有難い言葉を糧に、気楽にマイペースで1年間を過ごさせていただきました。幸いにも道上会長は健康にも留意され一度も代役を果たす必要なく終えることが出来ましたし、鮑幹事からは3年前に幹事を経験しているから何でもわかっているだろうと思っても格別の配慮で難しい質問をされることも無く過ぎほっとしています。きっとロータリーの専門的な質問や会の運営は私が幹事時代に会長をされた中井理事がおられたのもっばらそちらに集中していたのではと思います。

クラブ奉仕委員長としては、メンバーの皆様楽しく、和やかな例会運営が出来れば一番と思っていましたがクラブ奉仕委員会に所属する9つの委員会の委員長・委員の方々のお力添えで親睦や学びの場としてお役に立てることも出来ました。例会以外の親睦会・家族会でも楽しい企画で大いに盛り上げていただき有難うございました。ただ、体調やお仕事の関係で長期にわたり参加が叶わない方々がおられるのは残念でした。フォロー出来なくて申し訳ありませんでした。

5年連続でクラブの理事・役員会、地区の委員会に参加させていただいた上に非公式ではあ

りますが全国のロータリアン 265 名が参加されている JRIC (全国ロータリアンインターネット協議会) の会長も経験させていただきました。ロータリーの活動や会合を通してクラブ内のメンバーの皆様を始め、全国や地区内の多くの人とも出会い、学べたことにとても感謝しています。ロータリー活動の拠点となっている神戸東ロータリークラブの良さは全国や地区内の他のクラブの方とお会いし話をする事により実感する事も出来ました。そんなクラブの副会長職を務めさせていただけたことにあらためて感謝申し上げます。

次年度の横山年度がますます魅力的な神戸東ロータリークラブへと導いてくださることを祈念しています！



幹事
理事 鮎悦初

皆さん、今日は！道上年度では幹事として理事・役員・委員長はじめ、会員の皆様には多大なご支援を頂き、大変お世話になりました。先ずもって感謝を申しあげます。ありがとう御座いました。

一昨年 of 何時ごろだったか？道上会長エレクトより「鮎ちゃん、幹事受けてくれない？遣ってくれない？」とお話を頂きました。旧知の仲と言う関係でもあり、幹事の何かも解らず「私で良ければ！」とお引き受けをしてしまいました。

私は幹事とは会長から指示された仕事、言われた事を遣ればよい、こなせば良いと考えていました。

ところがある時、ある方から「鮎ちゃん、ロータリークラブの会長と言うのは天皇陛下みたいな存在やで、あまり仕事をさせたらあかんで！」と言われました。教えられました。

以来、毎週の『例会の進行・次第』、毎月の『理事・役員会』など、可能な限り道上会長、岩野副会長の手を煩わすことのない様に、事務局からの報告や連絡、相談事項に対し、独断で決めた事も少なからずありました。

道上会長、岩野副会長にはご心配をお掛けした事も多々有ったかと思いますが、何時も温かく見守って居てくれました。ありがとう御座い

ます。

「時すでに遅し」今、考えればもっと色々報告、連絡、相談しておくべきだったかな？と反省しております。

先ほどの道上会長のご挨拶でもふれられましたが、五大奉仕委員会はじめ各委員会、委員長の皆様には本年度道上会長の「一原点をみつめ、愛あるロータリー活動をー」のテーマを基に、多彩な奉仕活動や会員同士の親睦を深める事業を企画、開催して頂きました。

毎週の例会での卓話では中尾委員長はじめ委員皆様の幅広い人脈を活かし、会員はじめ多様な方々に卓話をして頂きました。

また多くのクラブが会員の減少に悩む中、我々神戸東ロータリークラブでは会員の増強、純増を達成する事も出来ました。

この一年「幹事」として道上会長、岩野副会長、そして多くの委員長、委員の皆さんと共に色々な会、行事に参加させて頂きました。多くの貴重な体験をさせて頂きました。

幹事としての責務を果たせたか？と自問すれば甚だ疑問ではありますが、道上年度を何とか無事に終えることが出来ますのは、紛れも無く神戸東ロータリークラブ会員、皆様お一人おひとり、むつみ会、事務局職員、ホテルオークラ神戸はじめ、関係者皆様の温かいご理解とご支援のお陰で御座います。

改めて幹事として御礼を申しあげます！本当にお世話になりました！ありがとう御座いました！





「私の考える職業奉仕」

パストガバナー 石丸 鐵太郎

職業奉仕
Vocational Service

- 社会奉仕
- 家庭奉仕
- 地域奉仕
- 勤労奉仕
- 職業奉仕 ?

- ・ 職業による奉仕
- ・ 職業における奉仕

ご紹介いただきました石丸です。

この席に立ちますと、4年前、公式訪問で、緊張の中、入場したことを、昨日のように思い出します。

その節は大変お世話になりました。

本日は「職業奉仕」についてお話をさせていただきます。

ところが、職業奉仕というのは、良くわからない、難しい、といわれています。職業は金儲け、奉仕は金食い虫、どうして矛盾するものが一緒になるの。

金を持った貧乏人というようなことばです。

さっそく広辞苑を引いてみましたが出てきません。

出てきたのは、社会奉仕・家庭奉仕・地域奉仕・勤労奉仕などはあるのですが、職業奉仕は

ありませんでした。

ネットで検索しますとロータリーの用語としてしか出てきません。

まず、自分で考えてみました。

「職業奉仕」なんだから「職業による奉仕」と「職業における奉仕」があるのではと考えました。

「職業による奉仕」については何とかわかりますが、「職業における奉仕」とは何でしょうか。

そこで、ロータリーの職業奉仕という言葉が、どうやってでてきたか、歴史を検証しながら、考えてみました。



ご存じ最初の4人のロータリアン。

しかしこの人たちは職業奉仕のことは、ダイレクトには、考えていなかったようです。

左から、

ガスターバス・ローア (鋳山技師)

シルベスター・シール (石炭商)

ハイラム・ショーレー (洋服屋)

ポール P. ハリス (弁護士)

**シカゴロータリークラブ
の
最初の定款 1906年**

- ・ 本クラブ会員の事業上の利益の増大
- ・ 社交クラブに付随する親睦の推進

・ 会員は一職業1人



現に、シカゴロータリークラブの定款には、この2項目しか有りませんでした。

職業奉仕という言葉はありません。

しかし、会員は職業人に限られ、しかも、1業種1人と限定、かなり厳しく運用していたようです。

この1業種1人という原則を嫌ってできたのが1915年にできたキワニスと言われていま

す。これらの職業人がなぜ集まったのか。当時のシカゴの状況を見てみましょう。



当時のシカゴは、ビクトリア朝と呼ばれ、無秩序・身勝手な自由競争が横行していました。

その時のシカゴの状況を描いているのがミュージカルの「シカゴ」。

ニューヨークで米倉涼子が出演しているそうですね。

悪徳弁護士ビリー・フリン、ありとあらゆる手を尽くして、殺人を犯した、人気女性歌手ロキシー・ハートを、無罪に導く。陪審制があったからでしょうが。刑務所の中から全てが金で片が付くという時代。

右側は、ご存じのアル・カポネ。違法な力によって、シカゴを支配していた。

そんな社会状況を「さびしく思い」、このままで良いわけがないと思っていた職業人たちが集まったのがロータリーでした。

「さびしかったから」親睦を深めよう。仕事の上で助け合おうという定款ができたのです。

しかし、職業人が、シカゴが良くなったらな

と思っていたのです、職業奉仕の底流は流れていました。

「同業者はライバル、法さえ犯さなければ金を儲けた者が成功者、騙すより騙される方が悪い、誇大広告・虚偽広告の横行」が当たり前の社会でした。

第3の目的の追加 1907年

- ・シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める

ドナルドカーター

1906年5月に入会したドナルドカーターの、会員以外の人に役立つような事ができなければ未来がない、との意見を入れて、シカゴロータリークラブの定款に、この1項目が追加となりました。

ここに、身内だけでなく広くシカゴ市民のために働こうとなりましたが、奉仕という言葉が未だ入っていません。

「シカゴ市民としての誇り」「忠誠心」という部分が職業奉仕を思い浮かべさせます。



公衆便所、これがロータリーの奉仕活動の最初といわれるものですが、単なる寄付ではなく、市民団体を組織して市の行政当局に働きかけて、補助金を獲得し、妨害活動をはねのけて、



実施にこぎつけたものです。

これが 1907年 明治40年

これがロータリーが創立されて僅か一年後に、対社会的活動として奉仕の概念が芽生えましたが、ロータリーが奉仕活動の分野に力を入れ始めた裏には、会員相互の「物質的互惠」によって大きな利潤を得たという後ろめたさを、カモフラージュする意図がなかったとはいえません。

始めは、恵まれない人に対する人助けや励ましという形を通じて、地域社会に profit のいくばくかでも還元しようとするささやかな慈善事業に過ぎませんでした。やがて、それは、シカゴ・クラブの公衆便所設置運動という計画的組織的な活動に発展し、今で言う社会奉仕活動に形を変えていきました。

1907年、シカゴ・クラブ会長に就任したポール・ハリスは、次の三項目の新方針を打ち出しました。

☆シカゴ・クラブの会員増強

☆他都市における新しいロータリークラブの設立（拡大）

☆地域社会への奉仕活動の展開

公衆便所設置はこの方針に従って、市民団体を組織して市の行政当局に働きかけて、実施にこぎつけたものであり、俗にいわれるような単に金銭を拠出した団体奉仕活動ではなかったことは注目に値することです。

1907年、シカゴ商工会の会合に出席したポール・ハリスは、そこでループ地区の通行人が公衆便所がないために不便な思いをしているという話を聞きこみ、これを社会奉仕活動を開始する絶好の機会だと感じたポールは、早速この事業に取り組むことをクラブに提案しました。突然降ってわいた、これまでとは異質な活動に、クラブ会員はとまどいましたが、最終的には了承したというのがこの真相です。

早速クラブは、グレート・ノーザン・ホテルに25の市民団体の代表を集め、連合公衆便所建設委員会を設立して活動を開始しましたが、

シカゴ醸造組合と百貨店組合の妨害を受けて、土地を掘り起こすまでに2年の歳月がかかりました。最終的には市当局から20,000ドルの補助金の交付を受けて、1909年に市役所と公立図書館の横に二つの公衆便所を作ることに成功したのです。

二番目のクラブができる前に社会奉仕の重要性を悟り、私はシカゴ市に公衆便所の建設に着手するよう、シカゴ・クラブを説得し、更に、市当局や市内の各種民間組織にもシカゴ・クラブの計画に加わるように勧めた。我々の最初の挑戦として、もっと興味深い対象を選択することも可能だったかも知れないが、これ以上興奮をかきたてる対象を見出すことは難しかったであろう。

二つの手ごわい相手が我々に立ち向かってきた。一つは、シカゴの六千の酒場の全ての店が男性用の公衆便所を提供すると主張したシカゴ醸造組合であり、もう一つの相手は、婦人に店の無料施設を使わせると主張するステート通りの百貨店組合であった。この施策の提案者は、トイレを使用するために、男性は一本のビールを、女性は化粧品を買う必要はないと主張した。かくして、公衆便所は設置された。

ロータリークラブの目的 の 追加 1910年

- ・進歩的で尊敬すべき商取引の方法を推進する。
- ・職業倫理をうたった最初の文書

それから3年、全米ロータリークラブ連合会の結成の場で、ロータリークラブの目的の一つに、「進歩的で尊敬すべき商取引の方法の推進」が採択されました。

これが職業倫理の第一歩といわれています。職業奉仕という言葉の芽生えです。



進歩的という言葉は、奔放な、何でもありの自由競争ではない、という意味だと思います。

尊敬すべきとは、非常に価値があるものとしてそれを大切にしようとの思いだと思います。

今までの自由競争の世にはない貴重な価値のある仕方での商売をしようということでしょう。

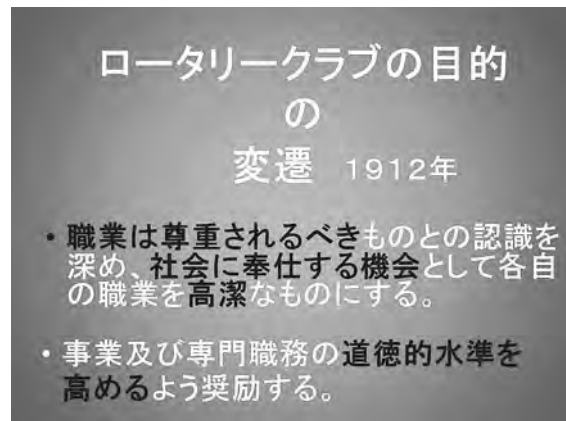
これはこの数年前に入会したシェルドンの影響とされています。



1911年明治44年、シェルドンが提唱した奉仕の理念 He profits most who serves best が採択されており、この頃からロータリークラブは会員の親睦と物質的便益を相互に供与しようという社交クラブ的な枠を超えて、職業奉仕・職業倫理の課題を真剣に考え始めたのです。



この人が He profits most who serves best を提唱したシェルドンです。

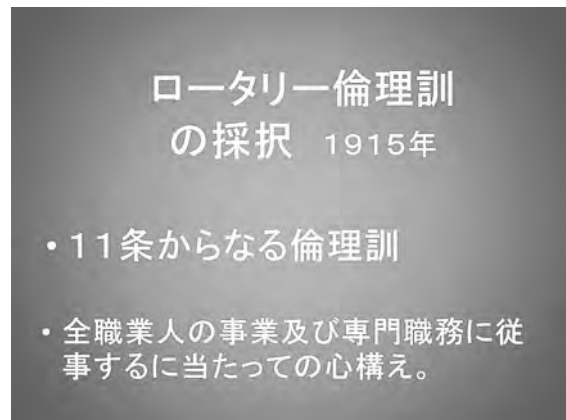


1910年のロータリークラブの目的は2年後このように変わりました。

「進歩的で尊敬すべき商取引の方法の推進」という言葉が少しわかりやすくなっています。

職業はそれぞれ社会において存在価値があり、会員はその職業を通して社会に奉仕しているものであり、それゆえ、その職業を、利や欲のためにするものではないようにしなければならない。

2項、善悪をわきまえて正しい行為をするよう他人にも勧めなさいということでしょう。



その3年後1915年大正4年、11か条からなる倫理訓が採択されました。

1912年採択のロータリーの目的がさらに易しく具体的になっています。

全職業人の事業及び専門職務に従事するに当たっての心構えでありましたので、「職業倫理訓」とも呼ばれています。



大連宣言 1928年

- 第1 須らく事業の人たるに先立ちて道義の人たるべし
- 第2 成否を曰くに先立ち退いて義務を尽さむことを思い進んで奉仕を完うせんことを念う。自らを利するに先立ちて他を益せむことを願う。最も能く奉仕する者、最も多く満たさるべきことを吾人は疑わす。
- 第3 特殊の関係をもって機会を壟断しあるいは世人の潔しとせざるに乗じて巨利を博す。これ吾人の最も忌むところなり、
- 第4 義をもって集まり、信をもって結び、切磋し琢磨し相扶け相益す。
- 第5 徒爾なる角逐と闘争とは世に行なわるべからず、協力をもって博愛平等の理想を実現せざるべからず、しかり吾が同志はこの大義を世界に敷かむがために活躍す。

1928年昭和3年に、この倫理訓を日本語に噛み砕いたものが、大連宣言です。この方が日本人にはわかりやすいといわれています。

1936年（昭和11年）の70地区の神戸での地区大会

70地区 日本・朝鮮・満州

直木太一郎が提案し、これを日本における正式なロータリー倫理訓にしようとしたがかなわなかった。

第1. 須らく事業の人たるに先立ちて道義の人たるべし。蓋し事業の経営に全力を傾倒するは因って世を益せんがためなり。ゆえに吾人は道義を無視していわゆる事業の成功を獲んとする者に与せず

第2. 成否を曰くに先立ち退いて義務を尽さむことを思い進んで奉仕を完うせんことを念う。自らを利するに先立ちて他を益せむことを願う。最も能く奉仕する者、最も多く満たさるべきことを吾人は疑わず。

第3. あるいは特殊の関係をもって機会を壟断しあるいは世人の潔しとせざるに乗じて巨利を博す、これ吾人の最も忌むところなり、吾人の精神に反してその信条を素は利のため義を失うよりはなはだしきは無し。

第4. 義をもって集まり、信をもって結び、切磋し琢磨し相扶け相益す。これ吾人団結の本旨なり。しかれども党をもって厚くすることなく他をもって拒むことなく私をもって党する者にあらざるなり。

第5. 徒爾なる角逐と闘争とは世に行なわる

べからず、協力をもって博愛平等の理想を実現せざるべからず、しかり吾が同志はこの大義を世界に敷かむがために活躍す。吾がロータリーの崇高なる使命ここに在り、その存在の意義またここに存す。

4大奉仕の分割 1927年

- ・クラブ奉仕
- ・職業奉仕
- ・社会奉仕
- ・国際奉仕

1927年、奉仕を4種類に分割しました。ここで、初めて「職業奉仕」の言葉が出てきました。

今から90年前昭和2年です。

職業奉仕とは

- ・職業を通じて他の人に奉仕すること
- ・高い道德水準を保つこと

ここでは、職業奉仕とはこのように定義されております。

しかしその後職業奉仕そのものは冷遇される。

1948年に委員会も廃止



四つのテスト

1932年発案 1943年採択

- ・ 言行はこれに照らしてから行うべし
- ・ 1. 真実かどうか
- ・ 2. みんなに公平か
- ・ 3. 好意と友情を深めるか
- ・ 4. みんなのためになるかどうか

これは、1932年にロータリアンのハーバードJ.テイラーが、当時破産の危機に直面して会社の経営を引き受けるよう要請された時に創案したものです。

経営難のこの会社を救う方法を24単語の倫理規定を、指針とし、会社は倒産の難を逃れましたが、その理由はこのシンプルな哲学に負うものでした。

この四つのテストが、職業奉仕の理念の実行に役立つものとして、1943年にロータリーに採用されました。このメッセージはすべてのロータリアンが知り、守るべきものです。

The Four-Way Test

Of the things we think, say or do

1. Is it the TRUTH ?
2. Is it FAIR to all concerned ?
3. Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIP ?
4. Will it be BENEFICIAL to all concerned ?

The Four-Way Test

- ・ Of the things we think, say or do
- 1. Is it the TRUTH ?
- 2. Is it FAIR to all concerned ?
- 3. Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIP ?
- 4. Will it be BENEFICIAL to all concerned ?

The Four-Way とは四つ角です。

Test と単数になってますからこの4項目すべてに合致するようにとのことです。

新たな「職業奉仕に関する声明」

1987年

- ・ 40年ぶりに復活した職業奉仕委員会が発表

ロータリアンの職業宣言

1989年

1987年、昭和63年、40年ぶりに職業奉仕委員会が復活し、新たに「職業奉仕に関する声明」を出しました。

そして翌年、「ロータリアンの職業宣言」が採択されました。

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想を生かしていくことをロータリーが育成、支援する方法である。職業奉仕の理想に本来込められているものは次のものである。

1) あらゆる職業においてもっとも高度の道徳的水準を守り、推進すること。その中には、雇主、従業員、同僚への誠実、忠実さ、また、この人たちや同業者、一般の人々、職業上の知己すべての公正な取り扱いも含まれる。

2) 自己の職業または、ロータリアンの携わる職業のみならず、あらゆる有用な職業の社会に対する価値を認めること。

3) 自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること。

職業奉仕は、ロータリー・クラブとクラブ会員が自己の職業上の手腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって、目標を実践、奨励することである。クラブ会員の役割は、ロータリーの原則に沿って、自らと自分の職業を律し、併せてクラブ・プロジェクトにこたえることである（ロータリー章典8.030.1.）。

1) 職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘せよ。



- 2) 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道徳規準に対し、名実ともに忠実であれ。
- 3) 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的規準を推進すべく全力を尽くせ。
- 4) 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上、関係をもつすべての人々に対し、ひとしく公正なるべし。
- 5) 社会に有用なすべての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。
- 6) 自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの、格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ。
- 7) 広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して、これを世に問うに当たっては、正直専一なるべし。
- 8) 事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めず、また与えることなかれ (89-148)。

ロータリアンの行動規範

2011年

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

現在のロータリアンの行動指針です。2011年には職業がない人も入会できるようになりましたので、「職業宣言は」「行動」指針と変更され、

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。

4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

りん-り【倫理】

人として守り行うべき道。善悪・正邪の判断において普遍的な規準となるもの

こう-けつ [カウ-]【高潔】

人柄がりっぱで、利欲のために心を動かさないこと。

そん-けい【尊敬】

非常に価値があるものとして大切にしようとの思い

ほう-し【奉仕】

世のため人のためにつくすこと

どう-とく [ダウ-]【道徳】

人々が、善悪をわきまえて正しい行為をなすために、守り従わねばならない規範の総体。外面的・物理的強制を伴う法律と異なり、自発的に正しい行為へと促す内面的原理として働く。

第4条 目的

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること

現在の標準定款です。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとしてください。

皆さんの職業はそれぞれ社会に役立っており、それを全うしてください。職業における善悪の判断基準を高く保ち、職業に携わるにあたって利欲のために行動しないようにしましょう。

第3 ロータリアン一人ひとりが、個人とし

て、また事業において、日々、奉仕の理念を実践すること。

奉仕の理念の実践とは奉仕喜びをし続けようという意味があります。

ロータリアン個人が、その職業活動において、奉仕の喜びを味わおう。奉仕の喜びを追求し続けよう。終りが無いという意味が入っています。

無職でも入会できるようになりましたので、「社会生活」と言っています。

職業奉仕

・ 事業および専門職務の**道徳的水準を高め**、**品位ある業務はすべて尊重されるべきである**という認識を深め、あらゆる**職業に携わる中で奉仕の理念を実践**していくという目的を持つものである。


会員の役割には、ロータリーの理念について自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。

職業の道徳的水準、善悪・正邪の判断基準を、を高め、職業はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、お互いに尊敬しあいながら、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念、他人のために尽くそう、を実践し続けるという目的を持つものである。

会員の役割には、ロータリーの理念について自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。

弁護士と職業奉仕

弁護士法



弁護士職務基本規程

弁護士も職業の一つです。

ロータリアンの弁護士には当然ロータリーの

職業奉仕が適用されます。

そればかりでなく、弁護士法や弁護士職務規定でその行動が規律されています。

内容は、ロータリアンの行動規範と同様ですが、刑事被告人の弁護人や民事事件の代理人になりますので特殊な状況が出てきます。

このパワーポイントの背景は天秤です。

天秤は弁護士の象徴、公平と正義をあらわしています。

これは弁護士のバッジです。

拡大してみますとこうなります。

仲に天秤があります。

周りの花卉は菊ではありません。

ひまわりです。

ひまわりは自由の象徴とされています。

弁護士法

第1章 弁護士の使命及び職務
(弁護士の使命)

第1条

1 弁護士は、**基本的人権を擁護し、社会正義を実現**することを使命とする。

2 弁護士は、前項の使命に基き、**誠実にその職務を行い、社会秩序の維持及び法律制度の改善に努力**しなければならない。

(弁護士の職責の根本基準)

第2条

弁護士は、常に、**深い教養の保持と高い品性の陶冶に努め、法令及び法律事務に精通**しなければならない。

弁護士法にはこのような規定があります。

第1章 弁護士の使命及び職務

(弁護士の使命)

第1条

1 弁護士は、基本的人権を擁護し、社会正義を実現することを使命とする。

2 弁護士は、前項の使命に基き、誠実にその職務を行い、社会秩序の維持及び法律制度の改善に努力しなければならない。

(弁護士の職責の根本基準)

第2条

弁護士は、常に、深い教養の保持と高い品性の陶冶に努め、法令及び法律事務に精通しなければならない。

弁護士法第 56 条 弁護士は、この法律又は



会則に違反し、所属弁護士会の秩序又は信用を害し、その他職務の内外を問わずその品位を失うべき非行があつたときは、懲戒を受ける。

弁護士職務基本規程

- ・ (信義誠実)
第5条 弁護士は、**真実を尊重し、信義に従い、誠実かつ公正に職務を行うものとする。**
- ・ (名誉と信用)
第6条 弁護士は、**名誉を重んじ、信用を維持するとともに、廉潔を保持し、常に品位を高めるように努める。**
- ・ (研鑽)
第7条 弁護士は、**教養を深め、法令及び法律事務に精通するため、研鑽に努める。**

弁護士職務規定にもこのような条文がありません。

(信義誠実) 第5条 弁護士は、真実を尊重し、信義に従い、誠実かつ公正に職務を行うものとする。

(名誉と信用) 第6条 弁護士は、名誉を重んじ、信用を維持するとともに、廉潔を保持し、常に品位を高めるように努める。

(研鑽) 第7条 弁護士は、教養を深め、法令及び法律事務に精通するため、研鑽に努める。

被告人の秘密を知った場合

- ・ (秘密保持の権利及び義務)
第23条 弁護士又は弁護士であつた者は、その職務上知り得た**秘密を保持する権利を有し、義務を負う。**
- ・ (信義誠実)
第5条 弁護士は、**真実を尊重し、信義に従い、誠実かつ公正に職務を行うものとする。**

被告人が実は本当は罪を犯しているのだが、今は否認している。と説明を受けた場合、どう行動するか。

弁護士には秘密を守る義務もありますし、社会正義を実現することを使命としており、真実を尊重しなければならぬとなっております。

さあどうするかです。

被告人から開示された秘密を裁判所に暴露しないことは、4つのテストの「真実かどうか」に反することになります。

一方、弁護士の業務の誠実執行義務にも反します。弁護人を信じて秘密を暴露した被告人にはかわいそうになります。刑事司法制度が崩れかねません。

現在刑事司法制度が、検察側と弁護側の対立構造の中で真実を発見しようとする構造になっていますので、弁護人は被告人の利益のためにのみ行動すればよいということで、裁判所とかに、聞き取った真実の暴露をすることは許されないとされています。

もっとも、虚偽の証拠を出したりすることは許されません。

弁護士法

(秘密保持の権利及び義務)

第23条 弁護士又は弁護士であつた者は、その職務上知り得た秘密を保持する権利を有し、義務を負う。

弁護士職務基本規程

(信義誠実) 第5条 弁護士は、真実を尊重し、信義に従い、誠実かつ公正に職務を行うものとする。

- 1、実は財布をすっているんだが
- 2、私は絶対にしていない、無実だ
- 3、交通事故の弁護をしたところ身代わり犯であった
- 4、財産分与として隠せるでしょうか
- 5、ネット詐欺にかかった

昔「すり」を弁護したことがあります。

「物」が見つけられていないから無罪を主張する。

「物」がなければ裁判にならないと考えていたようです。



裏口合格詐欺。絶対に詐欺をしていないと言
い続けた。

証拠上詐欺をしているのは明らか。

無理して情状弁論

驚くなかれ、判決は無罪。だまし方が荒唐無
稽。

経験したことはない。

犯人隠避の共犯になる。

隠し方を教えると、非行になりえる。

弁護士の真実尊重義務。

刑事告訴するべきかどうか。

それより金を返してもらうことを優先する
か。

結果的には詐欺を助長するのでは。

以上いろいろ苦労していますが、弁護士法に
ある通り、名誉を重んじ、信用を維持するとと
もに、廉潔を保持し、常に品位を高めるように
努めるとともに。

ロータリーの例会やセミナー等に参加して、
教養を深め、法令及び法律事務に精通するため、
研鑽に努めております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。





青陽東養護学校・友生支援学校招待ボウリング大会を開催



青陽東養護学校招待ボウリング大会を
盛大に開催

2015年12月11日(金)六甲ボウルにおいて神戸市立青陽東養護学校の生徒達を招いてボウリング大会を開催しました。先生・生徒合せて約300名と神戸東ロータリークラブのメンバー16名でボウリングを通じて人とのつながり、大勢の仲間と遊ぶことの楽しさを体感していただき盛況のうちに閉会いたしました。

生徒たちが心待ちにしている友生支援学校
招待ボウリング大会を開催

2016年2月19日(金)六甲ボウルで神戸市立友生支援学校の先生・生徒合せて約130名と神戸東ロータリークラブのメンバー14名とボウリング大会を開催いたしました。生徒達にとっては年に一度の楽しみな行事です。生徒達の喜んでる姿を見て、いつもながら大変嬉しくなりました。

(社会奉仕委員長 宮 昭久)



ホテルオークラ神戸のすばらしい料理で 第 62 回創立記念例会・家族会を華やかに開催



平成 28 年 4 月 12 日 (火) 12 時 30 分より第 62 回創立記念例会を会員 83 名、ご夫人 29 名、米山奨学生姜君他、合計 117 名参加のもと、ホテルオークラ神戸「平安の間」にて開催致しました。

今例会はご夫人同伴で行いました。

まずはコーラス同好会並びにむつみ会のコー

ラスで始まり、道上会長の挨拶、執行会員の乾杯、ホテルオークラ神戸のすばらしい料理を味わい、高橋会員、角田会員の金婚のお祝い、そして出席委員会において皆出席表彰を行い、最後に岩野副会長の中締めにて閉会致しました。

(家族委員長 林 伯正)





ラウンドテーブル会 報告



第1回 ラウンドテーブル会



第2回 ラウンドテーブル会

当委員会は、(1)新会員候補者及び会員に会員の特典と責務に関する適切な情報を伝え、その理解を手助けし、(2)最近のロータリー規定審議会の流れ、活動に関する情報を提供し、今年度会長方針である「原点を見つめ、愛あるロータリー活動を」のテーマに添うべく会員の理解と知識の普及に努める事を基本方針として活動してまいりました。その一環として、今年度は、ラウンドテーブル会を2回開催し、例会では聞けない初歩的な質問などを気安く切り出せる会にしたいと心がけてきましたが、新入会員の方には難しい内容に傾きすぎたきらいがあり、今後の課題として残りました。

第1回 ラウンドテーブル会

テーマ「神戸東ロータリークラブの昨日・今日・明日」

2015年10月20日(火)本年度第1回目のラウンド・テーブル会を天安閣にて18:00より開催。「神戸東ロータリークラブの昨日・今日・明日」をテーマに、創立50周年記念時に作成された我クラブのこれまでの歴史と実績をまとめたビデオを供覧した後、当クラブにおいてラウンドテーブル会が過去どのように展開してきたかについてベテランロータリアンからお話し頂きました。また、これからのラウンドテーブル会の在り方についても論議され、参加会員15名と小規模ではありましたが有意義な会とな

りました。

第2回 ラウンドテーブル会

テーマ「神戸東ロータリークラブと地区およびRIの活動」

2016年2月16日(火)例会終了後本年度第2回目のラウンド・テーブル会をホテルオークラ会議室にて13:45より開催。「神戸東ロータリークラブと地区およびRIの活動」をテーマに、まず、DLP,CLPとはいかなるものかについて情報提供した後、主にDLPとCLP、分区代理からガバナー補佐への変更等について参加会員各自の考えを参加会員のご意見をお伺いしたがDLP,CLPへの関心が薄く、現状では十分な討議に至らなかったが、久野パストガバナーからDLP,CLP,ガバナー補佐についての考え方の示唆を頂けたことは収穫でありました。参加は13名でした。

(ロータリー情報委員長 野田 晴清)



神戸東ロータリークラブを理解していただく交流会を開催

—2016.3.8 神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて—



昨年6月に実施した「神戸東ロータリークラブを理解していただく交流会」の第2回目を3月8日（火）神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて開催致しました。

当日は、会員にご紹介いただいたゲスト11名を含め26名の方々に参加していただきました。

道上明会長の挨拶に始まり、国際奉仕活動について井元憲生委員長から、青少年奉仕活動について福原敏晃委員長から、例会プログラムについては山本裕計副委員長（次年度会員増強委員長）から、親睦・家族委員会の活動について

は菅野和矢委員長からプレゼンテーションし、食事をしながら懇親致しました。

数名のゲストの方からは「神戸東ロータリーは雰囲気が良い」とか「前向きに入会を考えたい」という感想をいただきました。

こうしたクラブ新派の輪をこれからも増やしていきたいと思います。

ご参加・ご協力いただいた会員の皆様、本当にありがとうございました。

（会員増強委員長 樫野孝人）



「先端医療と戦略」

後藤 章 暢

—兵庫医科大学 先端医学研究所—

近年、先端医療という言葉がよく使われるようになってきました。その対象として代表的な分野が癌に対する新しい治療法があげられます。先端的な治療薬の開発も世界中で行われており、最近ではその代表的なものが大変高価な分子標的薬などです。使用する患者さんに適応があるかないかの判別を使用前に行うなど、個別化医療という言葉もよく使われるようになっています。この言葉の意味は、患者個々に最適な治療法を選択して治療することですが、複数の新しい技術を統合して臨床的ケアに生かしていく治療という意味も含んでいます。個別化医療に対する関心事は、今後ますます高まりつつあり、分子生物学、遺伝子工学、バイオテクノロジー等の飛躍的な進歩の影響で、先端医療としての個別化医療は実現可能な分野になりつつありますが、依然として多くの問題点もあります。本日は新入会員卓話ですので、泌尿器科医である私の自己紹介として、前立腺肥大症や前立腺癌に代表される泌尿器科疾患についての話や、先端医療技術の紹介の話を期待された会員の方々が多かったのではと思います。本日は会員の方々の期待を裏切り、「先端医療と戦略」というテーマで話をさせていただきます。会員の皆様にはすでに経営戦略で成功された方が多い

と思いますが、医療こそが戦略が重要で、どこの教育機関でもこのようなことを医療従事者に教えてくれないのが日本の教育です。

先端医療の戦略



"And so, my fellow Americans:
ask not what your country can do
for you —ask what you can do
for your country."

神戸(日本)に対し
て医療(産業)は
何が出来るか？

第35代アメリカ合衆国大統領
ジョン・F・ケネディ

最近、経営戦略や国家戦略のように、戦略という言葉が日常的にも使われるようになってきました。戦略は、一般的には特定の目標を達成するために、長期的視野と複合思考で力や資源を総合的に運用する技術・科学であるといわれています。特に医療の分野に置き換えて考えた場合、長期的・全体的展望に立った治療の準備・計画・運用の方法であり、戦略の具体的遂行である医術とは区別されるものと考えられます。私自信、医療、なかでも私が関係している先端医療分野においては特に「戦略」という考え方が重要であると考えています。

「戦術はわかっても戦略はわからない。あるいは政略がわからない。われわれ(日本人)はそういう民族ではないか」

司馬良太郎「昭和という国家」

こういう民族がこの難しい時代に世界の中で生きていけるのか？

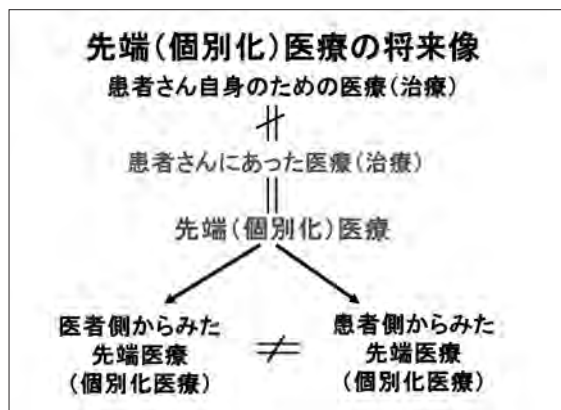
21世紀の神戸のためにも
医療を活用した戦略が重要

私は前職の神戸大学医学部勤務時代より、神戸のポートアイランド2期地域に展開している神戸医療産業都市構想計画の初期の段階から参画し、現在はその中の神戸国際医療交流財団と



神戸医療機器開発センターの代表者の任務を受けていますが、17年経過した現在も、この地域は多くの問題が山積した状態です。先端医療の日本の中心として立ち上げ、医療関連の産業創出を目標に戦略を立ててきたつもりでしたが、その時々々の行政の流れや関係者の誤ったかじ取りで、戦略ではなく戦術ばかりが先行し、現在に至っています。多くの国費や市税を投入していますが、あまり神戸市民にも認知されておらず、私たち関係者の反省すべき点も多くあります。

問題点も挙げさせていただきます。短い時間ですが、先端医療と戦略との関係について私のこれまでの経験と自己紹介も兼ねて述べさせていただきます。



本日のテーマである先端医療の中でも個別化医療の分野では特に戦略が重要であると考えられ、先端医療の中核である神戸医療産業都市構想の紹介とともに、そこでの戦略をも紹介し、





「韓国の話」—国際大会に向かって—

米山記念奨学生 姜 秉 俊

2016年度の国際ロータリーの国際大会は、韓国のソウルで開かれた。私は今回のスピーチとして、国際大会が開かれる韓国に関する内容を用意した。前半は私の自己紹介の部分であり、後半は韓国に関する部分である。

私に関する紹介を以下に簡単に纏める。

名 前 カン ビョン ジュン(姜 秉 俊)
生年月日 1990年05月25日
出身地 Seoul ⇒ Suwon (水原)
学 校 神戸大学
専 攻 工学研究科電気電子専攻(修士2年)
趣 味 野球、音楽、お酒

名前を漢字で書くと、『姜 秉 俊』となる。この漢字を説明する時、まず『姜』という字はショウガのガという風に説明をする。ここで、この真ん中の字『秉』は日本では使われていない漢字なので、説明する時にいつも苦労する。特に、電気やガス、ネット等の契約の時、『秉』という字は検索しにくいいため、時間がかかってします。意味は「掴む、掌握する」という意味である。出身地は韓国のソウルであるが、今住んでいるところはスワンという所である。ソウルからスワンは距離でいうと大阪、神戸ぐらい

の距離で離れている。スワンには有名なものが二つあり、一つ目はカルビである。韓国の中でスワンの食べ物といえばスワンカルビが出てくるほどスワンのカルビは有名である。二つ目は世界文化遺産に登録されているスワンハソンというものである。在学中の学校は、神戸大学で、電気電子を専攻している。趣味はスポーツが好きで、特に野球が好きである。日本に来てからは見るのだけではなく、投げるのも練習し始めた。また、音楽とお酒が好きである。

次は、日本留学のきっかけになった留学プログラムに関して紹介する。私は学部生から留学しているが、その学部留学が可能になったのは“日韓共同理工系学部留学プログラム”のおかげである。このプログラムについて簡単に説明すると、『平成10年10月に行われた日韓首脳会談に基づいて発表された日韓宣言「21世紀に向けた新たな日韓パートナーシップ」で日韓両国の青少年交流の拡大がうたわれたことをうけて始められた留学生事業』である。

試験の流れは、まず、高校の成績で、全国で750人が先発され、その後、文部科学省が用意する試験で100人が最終の合格になる。大学や学科は、試験の成績から選ぶことができる。

このプログラムの特徴の一つは、日本語の試験がないということである。従って、日本語の能力がない人でも日本留学を考えることができるというのが大きい特徴である。言語の場合は、最終合格した人に対して日本語教育を行う。これを予備教育というが、韓国で六ヶ月、日本で六ヶ月行う。予備教育が終わったら次の4月に正式入学し、4年間学部過程を勉強する。また、大きい特徴として入学料、授業料は全額免除、さらに、生活費までもらえるというお金の支援が挙げられる。金額は地域の物価によって少し差があり、神戸の場合は、一月12万円をもうことになっている。このように、日本語の教育、さらに、お金の支援という特徴から、留学において最高の条件であったと考えられる。

次は現在行っている研究に関して簡単に説明す



る。研究室は、Mesoscopic Materials Research Laboratory というところで、物質に関する研究を行っている。特にナノサイズの物質に対して光特性評価を主に行っている。その中で私の研究分野は、シリコンフォトンクスという分野である。シリコンフォトンクスは簡単にいうと、シリコンをベースとした電子回路と光デバイスを一括化させようとする研究である。そうすることで、光デバイスを一つの基板上に纏め、価格やエネルギーの観点から効率をアップさせることが期待できる。応用先は、データセンターの基盤、チップ間のインターコネクト、化学分析、医療用レーザー等が挙げられる。

ここまでの前半の自己紹介の部分で、次からは後半の韓国に関する話を述べる。まず、ソウルの観光地について説明する。ソウルの代表的な文化財は、『景福宮』である。呼び方は、キョンボクンであり、朝鮮王朝の王宮であったものである。図1は、勤政殿と呼ばれる建物で、国家の大きな儀式を挙げる時及び、外国からの使臣を接待する時に使われた正殿である。図2は、勤政殿の内部にある王様の玉座の図である。図3は、慶会楼と呼ばれる建物で、国家の祝い事がある時、宴会が開かれた場所である。最後の図4は、香遠亭と呼ばれ、景福宮の後ろに位置し、王族が休憩を取った場所である。現在の別荘のような場所である。また、他の有名な観光地として北村韓屋村（ブッチョンハノクマウル）というところがある。図5にその一部の写真を示す。図5を見ると、韓国の伝統家屋である、韓屋（ハノク）が保存されており、両側に並んでいる様子が見える。伝統家屋である韓屋が多く保存されているため、昔の時代に来ているような感覚を感じることができるというのは特徴である。

次は、韓国の伝統料理について説明する。韓国は昔から、米飯とクツという汁ものを中心とし、野菜の和え物やチゲ（鍋物）、タン（煮込み汁）、肉や魚などをおかずにして食べてきた。

図6に示しているのは、神仙爐と呼ばれる韓

国の宮殿料理である。料理自体が神仙爐（しんせんろ）と呼ばれています。真ん中に炭火を入れてその場で沸かして食べる料理である。日本のお鍋と、その形や材料、食べ方が似ている。

最後に、韓国伝統衣装である韓服（ハンボク）について説明する。図7が男性用、図8が女性用の韓服です。ハンボクの基本要素として、上着はチョゴリと呼ばれる。上着の場合は男性、女性ともチョゴリと呼ぶが、下着の場合は少し異なる。女性の下着は、チマと呼ばれるもので、女性の場合、上着のチョゴリとチマが一体化されているものが多く普通、チマチョゴリと呼ばれている。それに比べて男性の場合は、バジと呼ばれる。チョゴリという言葉の場合、現在は使われていないが、チマとバジは現在も使われている用語である。





図1. 勤政殿



図2. 玉座



図3. 慶会楼



図4. 香遠亭



図5. 神仙爐 (Sinseollo)



図6. 神仙爐 (Sinseollo)



図7. 男性の韓服



図8. 女性の韓服



青少年奉仕委員会事業

夢をかなえるパティシエ体験

開催日時：2016年5月15日（日）10:00～13:00

開催場所：神戸市須磨区民センター3階料理教室（神戸市須磨区中島町1-2-3）

指 導：ボックサン社長 福原 敏晃（青少年奉仕委員長）



「夢をかなえるパティシエ体験」と題して、デコレーションケーキとシェルマドレーヌ作りに、13組の小学校の父兄がチャレンジされました。

ボックサン社長の福原さんの指導のもと、子供達は真剣にお菓子作りにたずさわっていました。家族の人たちと共に参加できたので、よい意思疎通の場にもなったと思います。これからも、このような青少年のための活動をロータリーとして行いたいと思います。

<参加者コメント>

・廣田智音（ひろた ともね）さん 舞子小学校6年<11歳>

将来はパティシエを目指しているので家でも

ケーキ作りをしているのですが今日は直接教えて頂けて夢に一步近づけた気がします！

*終わった後でも福原さんにケーキのスポンジ作りのコツを熱心に尋ねておられました。

・水谷 梨莉（みずたに りり）さん 灘小学校5年<11歳>

今日は11歳の誕生日で自分のバースデーケーキを作ることができとても楽しかったです。

生クリームをスポンジに塗るのはとても難しかったです！

（文責：副会長 岩野 了）



「RYLA セミナーと RYLA 学友会について」
企画委員長 阪本 龍太郎

私は現在 38 歳、会社員の阪本龍太郎と申します。2012 年の第 34 回 RYLA セミナーに参加し、その後、RYLA 学友として 4 年間活動して参りました。現在は企画委員長、次年度には副会長に就任させて頂く予定です。

『多くの方に RYLA のことを知っていただきたい。』『余島で開催される RYLA を守っていききたい。』この思いでこれまで活動をして参りました。

本日は、この二点を軸に RYLA セミナーのご紹介、そして当地区の RYLA 学友会の現状をご報告させていただきたいと考えております。

先日（5 月 22 日）第 38 回 RYLA セミナーが無事に終わりました。今年は、お天気に恵まれ、素晴らしいセミナーになったようです。

RYLA（ライラ）とは、ロータリー青少年指導者養成プログラム（Rotary Youth Leadership Awards）のことです。起源は 60 年前に遡ります。オーストラリアのブリスベンロータリークラブがイギリス王女を迎えるにあたり、同世代の青年リーダーを集め交流会を開いたのがはじまりです。セミナーの具体的な目的は、『青年の指導力の基礎や倫理観の育成』『問題解決能力の鍛錬』『自信と自尊心の養成』等とありますが、『仲間と未来を考える場であり、人生を自身

の目で見つめる時』だと私自身は思っています。

当地区 RYLA セミナーの参加資格は、20 歳以上でリーダー職に就いている、又は、就く予定の青年になります。基本的にはロータリアンの皆様からの推薦になりますが、近年は RYLA 学友会からも推薦させていただいております。セミナーは 3 泊 4 日のプログラムになっており、小豆島の下にある孤島の中で、約 40～50 名の青年たちが、日常から切り離され、自身を振り返り、他を受け入れ、一つになって未来に思いをはせる。そんなプログラムです。実は、当地区の RYLA は国際的にもハイレベルのセミナーの一つであるといわれ、その理由の一つが独自のカウンセラーシステムにあります。カウンセラーとは、選出されたロータリアン並びにロータリアン夫人であり、担当する班の青年たちの自主的な交流や融和が深まってゆくのを見守りながら、ロータリー理念を受講生に伝えることがミッションです。

受講生は余島上陸と同時に、男女が入り混じった 4 つの班に分けられ、各班に男女のカウンセラーが一人ずつ割り当てられます。寝食を共にし、一緒に講義を聞き、風呂に入り、時には夜通し杯を交わしながら語り合う。そんな濃密な 4 日間を過ごすうちに、カウンセラーのことを、おとうさん、おかあさんと呼び始める受講生も少なくありません。

セミナーの内容は、以下のようなものです。開講式、講義（講師は最前線で活躍するプロフェッショナル）、レクリエーション、キャビンタイム、バズセッション、フォーラム、思索の時間、カウンスルファイアーなどで構成されています。

私がこのセミナーに参加して毎回感動することは、受講生とカウンセラーの方々のセミナー終了後の表情です。なんとも清々しい表情をされているみなさんを、目の当たりにすると、少し羨ましい気持ちになりつつも、その出会いのお手伝いさせて頂いた事を心から感謝する思いでいっぱいになります。



38年もの間、大切に守ってこられてきたこのRYLAに、深い尊敬と感謝、そして誇りを感じると同時に、主催者であるロータリアンの皆様に、もっとRYLAのことを知っていただきたい、関わっていただきたい、という思いがどんどん強まっています。ぜひ、この余島で開催されるRYLAセミナーを体験して頂きたいと思います。そして、みなさんのご家族や事業所の中でこの人は！という青年たちをRYLAセミナーに積極的に推薦していただきたいと思えます。主催の方々と言うのもなんですが、絶対に後悔することはないと断言させていただきます。

さて、次に、RYLA学友会のお話も少しさせていただきますと思います。まず、RYLA学友とは、基本的にセミナー修了生とカウンセラーのことを指します。そして、RYLA学友会の一番の特徴は、何と言っても世代の幅広さです。現会長は第1回セミナーの修了生で、当時20代だったと伺っています。さらに当時カウンセラーだった方も現役学友として最前線でご活躍いただいております。かたや、先日に学友になりたての20歳の方も居られます。巷で噂になっている、総活躍社会のモデルケースのように、様々な環境にいらっしやる世代を超えたみなさんが積極的に関わることのできるすばらしい組織です。

学友としての活動は、年一回の総会、回を超えた同窓会、セミナーサポート、家族会、RYLA学友会顧問である深川純一先生を囲む会等、様々あります。

そんな中、我々が力を入れているのが他青少年団体との交流です。主に、インターアクト、ローターアクト、青少年交換学友、米山学友、そしてロータリー財団学友の方々です。近年、この横のつながりを生かし、RYLAセミナーへの参加を推進し、続々と参加者が増えています。交流を重ねることで、壁を越えた活動ができればいいなと感じています。青少年団体同士の『持続可能な関係づくり』という課題解決に

RYLA学友会が寄与することができるのではないかと考えています。

最後になりますが、この当地区RYLAセミナー創始者である今井静雄先生が、最期に講師としてお話しいただいた時のお言葉の一部をみなさんにご紹介させていただきます。

「RYLAセミナーはロータリーから若い世代へ、一緒に未来について、平和について考えましょう。というプロポーズです。」

RYLAセミナーが私に与えた影響はとても大きなものです。今井先生という人生の師との出会い、かけがえのない仲間たち、ロータリアンの皆様、すばらしい出会いをいただいたこのRYLAをより良いものにしていき、守っていきたい。そう心から願っております。

今後とも、RYLAセミナーとRYLA学友会にご理解ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。本日はお時間をいただき、誠にありがとうございました。





2016年5月28日~5月30日

ロータリーソウル国際大会に 17 名で参加しました。

—世界中のロータリアンと熱い思いを共有—



5月28日(土)より6月1日(水)まで5日間に渡り、韓国はソウルの KINTEX 国際展示場にて、ロータリー国際大会が開催されました。上記期間中 28日(土)から 30日(月)までの3日間、神戸東ロータリクラブからは17名が、満を持して大会に参加して参りました。5月28日(土)、午前の便で関西国際空港を飛び立ち、約2時間後に金浦空港に到着。そのまま会場である KINTEX に向かいチェックインを済ませ、場内各ブースを見学しました。そして2日目の5月29日(日)には、大会のメインイベントである世界大会開会式に参加しました。大変規模の大きい大会で、ラビンドラン国際ロータリー会長のご挨拶に始まり、パン・ギムン国

連事務総長のゲストスピーチなど、壮大なエキシビジョンの展開には大変感慨深いものがありました。そして夜には、第2680地区主催の夕食会にて、地区の友好を深める機会を持ちました。私たちは今回の大会を通して、国際大会ならではの大規模なコミュニケーションの場で、世界中のロータリアンと楽しく交流を深め、ロータリーに対する熱い思いを分かち合えたことで、非常に友好的な時間を共有できました。なお5月30日(月)午後、全員が無事に帰国し、今回の旅が楽しく有意義なものであったことをここに報告致します。

(国際奉仕委員長 井元憲生)



第21回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭参加報告

—2016.5.28 別府国際コンベンションセンタービーコンプラザフィルハーモニーホールにて—



平成28年5月28日(土)に開催された「第21回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭」に応援団を含め総勢30名で参加してきました。

今年は、熊本・大分地震の影響で中止になるかと心配しましたが、主催の別府市内4ロータリークラブのご尽力で、震災からの復興支援チャリティコンサートとして、予定通りの日程で開催されることになりました。

合唱祭は、「別府国際コンベンションセンタービーコンプラザ内のフィルハーモニーホール」にて12:30分に開演され、総参加合唱団19チーム、総人数約350名の演奏が、予定通り17:00分に終了し、引き続いて懇親会が「同コンベンションホール」にて約450名の参加者により17:30分より開催されました。

当クラブ合唱団は、開演後13番目に出演し、指揮：西村雅子、ピアノ：片桐えみ、男声6名、女声11名により、明治人の気概を伝える「Stand Alone」と、会場全体が楽しい気分になる「切手のないおくりもの」の2曲を演奏しました。

会場到着が11時15分と遅くなったため、場立練習、昼食、リハーサルと、かなり忙しい準備となりましたが、場立練習で舞台上での動き

の確認もでき、いつものように直前の練習を会場裏の搬入口付近でみっちり行って本番に臨みました。本番では完璧とまではいきませんでした。動きや手拍子も取り入れ、講評の先生からは「本当にコーラスの楽しさが表現できている」とお褒め頂きました。

演奏の出来もまあまあ満足できる内容だったため、気持ちよく参加した懇親会では、ご用意いただいた「関サバ」「関アジ」などの地元の海鮮料理の数々とビールに地酒、焼酎、ワインを堪能し、余興では、当クラブの披露した「六甲おろし」や他クラブの合唱チームの余興への飛び入り参加等で、例年の通り大いに楽しみました。

なお、当日の代表者会議で、来年の第22回親睦合唱祭は、びわ湖八幡RCの主催で6月17日(土)に、びわ湖ホールでの開催と決まりましたので、来年はオペラ公演もできる本格的舞台での演奏とびわ湖の小鮎やビワマスを楽しむに合唱の練習に励みます。

報告者

神戸東ロータリークラブコーラス同好会世話人
榊原 志朗



第2回会員親睦会で楽しかった1年を締めくくりました。

—2016.6.28 中国料理「天安閣」にて—



2016年6月28日(火)18時より、神戸東ロータリークラブ第2回会員親睦会を中国料理「天安閣」にて開催いたしました。

当日は、梅雨空の中、お天気が心配ではありましたが、親睦会が始まる頃は幸いにも雨が降り止み、総勢63名の参加を得て開催することが出来ました。

今年度、最後の会員親睦会の開催となり、道上会長のご挨拶にはじまり、執行会員から乾杯のご発声で親睦会がスタート、歓談の半ばには、新入会員の後藤会員・関根会員・関本会員、石原会員の5名より、一言ご挨拶をいただき、天

安閣の美味しい料理とお酒も相まって会員相互の親睦、懇親がより深くなったように思います。

お開きの前には鮑幹事からのご挨拶に続き岩野副会長の一本締めにより、道上会長年度最後の会員親睦会は、盛会にて行われました事をご報告いたします。

会員の皆様、準備をお手伝いいただきました親睦活動委員会メンバー、事務局様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(親睦活動委員長 菅野和矢)





▲2月2日「姫路城大天守保存修理工事について」
加納 哲 裕 会員



▲3月15日「クイーン・エリザベス」
香山 道 宣 会員



▲2月9日「2014年度男子ゴルフツアー賞金王になって」
プロゴルファー 小田 孔 明 氏



▲3月29日「今さら聞けないお肉の常識」
梅田 稔 会員



▲2月16日「ベトナムと日本人・日本企業～生活と経済の変化～」(ベトナム駐在の経験から)
アイクラフトJPNベトナム(株) 代表取締役 西田 俊 哉 氏



▲4月5日 スプリングコンサート～穏やかな春の風～ 「虹色びすけっと」
田村 英里 さんFl.、島田 香 さんCl.
小川 翔子 さんCl.、大川 紋佳 さんB.Cl.



▲2月23日「大災害と法」
弁護士法人芦屋西宮市民法律事務所 弁護士 津 久 井 進 氏



▲4月19日「産科医療について思うこと・私のクリニックでの親子継承について」
mamクリニック 院長 上 田 真 太 郎 氏



▲ 4月26日「生業の四方山話」

藤井光造 会員



▲ 5月10日「我が国の高齢化の実態と介護保険制度の動向そして有料老人ホームの選び方」
神鋼ケアライフ株式会社 代表取締役社長 花岡正浩氏



▲ 5月17日「心理学を学ぶと経営がうまくいく」

学校法人神戸セミナー 校長 喜多徹人氏



▲ 6月7日「ネパール大地震から1年～兵庫神戸から「ネパール被災地の子どものための居場所づくりを」～
カトマンス北ロータリークラブ会員/NGOネパール「虹の家」代表副理事
ネパール/International Sewa Society代表 プリタムラマゴレ氏
NGOネパール「虹の家」代表理事 福谷真知子氏



▲ 5月31日「同好会活動紹介その1」絵画・写真同好会「東彩会」、
コーラス同好会、俳句同好会「余韻会」、ビール同好会



▲ 6月14日「同好会活動紹介その2」ワイン同好会、神戸東 RC
I.Y.F.R.同好会、カラオケ同好会、ゴルフ同好会、「縄文と現代」を飲み
ながら語る会



▲ 6月21日「安全安心のまちづくりと共生社会の実現」
(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 理事 福井茂樹氏



余韻会 (俳句同好会)

平成二十八年一月二十六日

於 西村屋 花みかげ

帰国子の加はる居間に淑氣満つ

本郷 桂子

里帰り終へ渋滞に淑氣かな

執行 執艸

正月や不易流行際立ちて

高石 潜菴

ノーサイド笛立ち尽しラガーマン

白羽 子誠

背戸口のたわわなる色柿小つぶ

角田 伯堂

勝利者の色紙に一字淑氣充つ

吉井 聖倅

ラガーマン勝ち誇りたる顔と顔

松原 氣宏

会ひたしと思ふ賀状の古き友

池西 清栄

七種に足らざる粥のさびしさよ

橘 恵子

潰れたる耳を自慢のラガーかな

村野 離翔

健やかと七種粥に祈り込め

飯田 美音

余韻会 (俳句同好会)

平成二十八年二月二十四日

於 西村屋 花みかげ

木々の香となる早春の風の音

本郷 桂子

春雷の一発街を駆け抜ける

執行 執艸

琉球の島唄に酔ふ春浅し

高石 潜菴

春立ちて季節の景の動き出し

白羽 子誠

鬼は外控へ目に云ひ豆を撒く

角田 伯堂

投函の音に目覚めし浅き春

壺井 仙岳

雨音の透ける河面の冴返る

松原 氣宏

日毎見る楽しひと時梅の花

池西 清栄

新たなる草を待たなん野焼かな

橘 恵子

畦を焼く煙たなびき村暮るる

村野 離翔



余韻会 (俳句同好会)

平成二十八年三月三十日

於 西村屋 花みかげ

目刺焼く煙動けば潮の香
ほろ苦し同じ顔して目刺かな
春の湖櫓のささやきにまどろみぬ
百三歳書家の氣迫や冴返る
虚なるめざしの眼噛み砕き
焼き過ぎし目刺の辛き夕餉かな
手こぎ舟春日を受けてみぎひだり
ふはふはと空に消えゆく春の雪
山寺や小雪まじりの鐘の音
櫓の音に霞切一羽高く鳴き
靴音を鳴らして歩く春の道
櫓を休め花の水路の舟船頭

本郷 桂子
執行 執艸
高石 潜菴
白羽 子誠
角田 伯堂
壺井 仙岳
吉井 聖倅
松原 氣宏
池西 清栄
神品 平
橘 恵子
村野 離翔

余韻会 (俳句同好会)

平成二十八年四月二十九日

於 西村屋 花みかげ

昼の月よりもしらじら雪柳
さり気なくやり過すべし雀蜂
靈峰と田園めぐり水温む
いろいろの思い出ありし桜かな
夜桜の影に女の華やぎて
チューリップ水と光と子供達
病院へ花の散り敷く坂長し
雪柳風に誘はれ語るごと
咲きて知るかすかな思ひ雪柳
鳥一羽障子に影を残し飛ぶ
どこからか迷ひ込みたる昼の蜂
山葵田の手入れ一服富士仰ぐ

本郷 桂子
執行 執艸
高石 潜菴
白羽 子誠
角田 伯堂
植村 孝一
壺井 仙岳
松原 氣宏
池西 清栄
神品 平
橘 恵子
村野 離翔



「吉野の山桜」

絵と文 野田 晴清

吉野の山桜の名高い峠にて感動をキャンパスに・・・・・・・・

CONTENTS

3 役退任挨拶	1
職業奉仕月間に寄せて	6
青陽東養護学校・友生支援学校	
招待ボウリング大会	16
創立記念例会・家族会	17
ラウンドテーブル会報告	19
神戸東 RC を理解していただく交流会	20
新入会員自己紹介	21
米山記念奨学生報告	23
青少年奉仕委員会事業「夢をかなえるパティシエ体験」	26
RYLAセミナーとRYLA学生会について	27
ロータリー国際大会に参加して	29
親睦合唱祭参加報告	30
第2回会員親睦会	31
例会スナップ	33
余韻会	35

編集後記

道上会長年度の最終号、第3号会報をお届け致します。

浅学非才の身でありながら、何とか委員長の職責を務めさせて頂きましたのも、お支え下さった委員会メンバー、会員諸兄のご協力の賜物と痛感しております。あらためて厚くお礼申し上げます。

雑誌会報委員長 弘田 芳裕